

Wiss. Muenchen IV-II, p. 184 (1845). もみぢからまつ。

Hab. Mt. Yagasaki.

188) *Trollius hondoensis* NAKAI in Bot. Mag. Tokyo XLII, p. 8 (1928).

きんぱいさう。

Hab. Mt. Yagasaki, Mt. Hanare, Karuizawa plain, etc.

30) *Lardizabalaceae.*

189) *Akebia pentaphylla* MAKINO in Bot. XVI, p. 30 (1902). ごえふあけび。

Hab. Mt. Atago, Mt. Kose, etc.

190) *Akebia quinata* DECAISNE in Ann. Sci. Nat. ser.-2, XII, p. 107 (1839). あけび。

Hab. Mt. Kose, Mt. Atago, Usui pass, etc.

191) *Akebia trifoliata* KOIDZUMI in Bot. Mag. Tokyo. XXXIX, p. 310 (1925). みつばあけび。

Hab. Mt. Atago, Mt. Kose, New Usui pass, etc.

var. *clematifolia* NAKAI in Bot. Mag. Tokyo XL, p. 494 (1926). まるばみつばあけび。

Hab. Mt. Atago, New Usui pass, etc.

31) *Berberidaceae.*

192) *Berberis Thunbergii* A. P. de CANDOLLE, Syst. Veg. II, p. 9 (1821)

var. *Maximowiczii* FRANCHET et SAVATIER, En. Plum Jap. I, 272 (1876). めぎ。

Hab. Mt. Kose, Usui pass, Kumoba, etc.

193) *Caulophyllum robustum* MAXIMOWICZ, Prim. Fl. Amur. p. 33 (1859). るゐえふばたん。

Hab. Usui pass, Mt. Kose.

腊葉ノ特異變色ニ就テ

刈米達夫

T. KARIYONE: On the characteristic discoloration
of the dried botanical specimens.

植物ノ腊葉ヲ製作スルトキニ屢々葉ガ藍黒色又ハ黒色ヲ呈スル場合ガアル。

斯ル植物ハ「インデゴ配糖體」、「アウクビン」若クハ其類似配糖體或ハ「アルブチン」等ヲ含有スルモノニ多イガ、未ダ是等ノ成分ヲ確證セラレテ居ラヌ植物ニ就テモ分類學上ノ位置カラ類推シテ成分ヲ豫想スルコトガデキル。

先づきつねのまご科植物ニハはぐろさう（葉黒草！）、をぎのつめ、いせはない等葉ガ藍黑色ニナルモノガ多イ。又きつねのまごモ採集ノ時期ニヨツテハ美シイ藍色ニナルコトガアル。コレハ同科ニ藍ノ原料ニ利用セラレルりうきうある *Strobilanthes flaccidifolius* NEES ガアルコトニヨリ上記はぐろさう以下ノ植物ニモ「インデゴ配糖體」ヲ含有スルコトガ想像デキル。こあぢさゐヲ腊葉ニスルト採集ノ時期ニヨツテハ美シイ藍色ヲ呈スルガ未ダ此科ノ植物中ニハ「インデゴ配糖體」ヲ検出セラレタ例ハ無イ。同科ノがくあぢさゐ一名こんてりぎ（紺照リ木！）モ同様デ、初秋ニナルト此ノ植物ノ葉ガ樹上ニアルママ枯レテ紺色ヲ呈スルヲ屢々見ルコトガアル。

「アウクビン」*Aucubin* $C_{15}H_{24}O_9$ ハ無色ノ結晶デアルガ其水溶液ニ酸ヲ加ヘルカ或ハ植物中ニ存スル配糖體分解酵素ヲ加フル時ハ忽チニシテ黒泥状ノ物質ヲ沈澱スル。コレヲ含有スルあをき、おぼばご（殊ニへらおぼばこ）等ハ腊葉ニスルト葉ガ黒クナルノハ細胞ガ死滅スルト同時ニ「アウクビン」ニ酵素ガ作用スル爲デアル。あをきノ葉ガ霜ノ爲ニ黒クナルノモ同理ニヨル。奈良縣洞川ノ名產陀羅尼助ハ黃柏（きはだノ樹皮）ノ水製「エキス」デアルガ、「エキス」製造ノ際ニあをきノ葉ヲ加ヘルト適度ノ粘リト黒光リガ出ルノデ之ヲ用ヒルコトガアルサウデアル。コレモ「アウクビン」ノ應用デアル。

歐洲產しゃくじゃうさう *Monotropa hypopitys* LINN. = BRIEDEL. ハ *Mono tropein* トイフ配糖體ヲ検出シテ居ルガコレハ極メテ「アウクビン」ニ類似スル物質デアル、しゃくじゃうさう、ゆうれいたけ等ガ黒變スルノモ本物質ノ爲デアラウ、尙 BRIEDEL ハ歐產 *Orobanche Rapum* THUILL. 中ニ *Orobanchin* トイフ配糖體ヲ検出シテ居ル。コレハ「アウクビン」トハ全ク性質ノ異ツタモノデアルガ酸化サレルト黑色物質ヲ生ズル性質ガアツテはまうつぼ、なんばんぎせる等ニモ恐ラク之ヲ含有スルデアラウ。ごまのはぐさ科植物ニモ腊葉ニスルト黒クナルモノガ多イ。ままこな屬、こごめぐさ屬、うんらん屬ノ歐產種並ニきんぎょさう *Antirrhinum majus* LINN. ニハ *Rhinanthin* $C_{29}H_{52}O_{20}$ トイフ「アウクビン」類似ノ配糖體ガ發見サレテ居ル。其他同科ノひきよもぎナドハ最モ黒クナル性質ガアルガ、コレハ未ダ成分ヲ研究シタ人ハ無イ。HÉRISSEY ハ歐洲產あかね科ノやへむぐら属及ビくるまばさう *Asperula odorata* LINN. = *Asperulosid* トイフコレモ「アウクビン」ニ似タ配糖體ヲ發見シテ居ル。邦

産ノやへむぐら類、殊ニかはらまつばノ臘葉ガ黒クナルノモヤハリ Asperulosid
ヲ含有スルニヨルモノト想像シ得ル。

「アルブチン」Arbutin $C_{12}H_{16}O_7$ ハ加水分解ニヨリ「ヒドロヒノン」Hydrochinon ト葡萄糖ヲ生ズル配糖體デアル。「ヒドロヒノン」ハ寫眞現像ノ際ニモ見ラレル通リ酸化スルト黒褐色物質ヲ生ズル。なし。こけもも等ノ葉ガ黒クナルノハ「アルブチン」ヲ含有スルニ因ル。

植物學者ハ此ノ他多數ノ特異變色ノ例ヲ既ニ承知シテ居ラレルデアラウ。面白イ例ガアラバ本誌上ニ發表シテ戴ケバ植物化學ノ研究者ニトリテ非常ニ参考ニナルコトト信ズル。

たうびやくぶ *Stemona ovata* NAKAI

及ビニ三びやくぶ屬ニ就テ（其一）

岸 田 松 若

松 野 マ サ 子

M. KISHIDA & M. MATSUNO: On *Stemona ovata* NAKAI
and few other species of *Stemona* in Japan 1

大和宇陀郡ニ從來百部根ヲ市場ニ出スタメニ栽培スル一種ノびやくぶアリ。蔓性ニシテ高サ三四尺ニ過ギズ、びやくぶ (*Stemona japonica* MIQUEL) = 比ベテ全草甚ダ纖細、葉ハ卵形又ハ廣卵形、基脚心臟形ヲナシ葉柄長ク、花梗亦纖長、且ツびやくぶノ莖ノ下部ノ鱗葉ノ間ヨリ花ヲツクルト著シク異ルヲ以テ、之ヲ中井博士ニ致シテ教示ヲ仰ギシ所一新種トシテ *Stemona ovata* NAKAI たうびやくぶト考定セラレタリ。

大和地方ニハ古クヨリ百部根トシテ除蟲用ニ供スルタメ畑ニ栽培シタルモノ、如ク、曾テ大正五年宇陀郡松山町ニ本草家森野藤助ノ遺ヲ訪ヒシ際ソノ庭中ニ古ク江戸御藥園ヨリ拜領セシト傳フル本種ノアルヲ見タルコトアリ。現在ニテハ磯城郡櫻井町、宇陀郡神戸村等ニ栽培ス。

從來百部根トシテ市場ニ出シ、びやくぶ一名つるびやくぶ (*Stemona japonica*) ト混同セラレタレドモ全ク別種ナリ。

Stemona ovata NAKAI たうびやくぶ

(Sect. Stemonella)